令和５年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

美　術

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第１問題　次の指示に従い、Ⅰ、Ⅱのいずれかを解答せよ。

・中学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・高等学校受験者は、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・特別支援学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］または、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］のいずれかを選択して解答すること。

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年告示）「第２章　第６節　美術」の一部である。後の問に答えよ。

第２　各学年の目標及び内容
〔第２学年及び第３学年〕
１　目標
（１）対象や事象を捉える［ア］について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
（２）自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの［イ］、美術の働きなどについて［ウ］・総合的に考え、①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）［エ］に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな［オ］を創造していく態度を養う。

２　内容
Ｂ　鑑賞
（１）鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。
（略）
イ　［オ］や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
（ア）②身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、［カ］や自然との［キ］などの視点から［オ］や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、③見方や感じ方を深めること。
（イ）　日本の美術作品や受け継がれてきた表現の［ク］などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り［ケ］を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や［コ］に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

問１　［ア］～［コ］にあてはまる語句を答えよ。

問２　中学校学習指導要領（平成29年告示）「第２章　第６節　美術」では、鑑賞に充てる授業時数についてどのように示しているか。適切なものをＡ～Ｃから一つ選び、記号で答えよ。
Ａ　育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保すること
Ｂ　Ａ表現との関連を図り、おおよそ１対１の割合で実施すること
Ｃ　鑑賞に充てる授業時数は示していないため、実施しなくてよい場合もある

問３　下線部①について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編　第２章　第２節　第２学年及び第３学年の目標と内容」において、第２学年と第３学年の成長の違いも考慮しながら、何に自信を持ちながら主題を生み出し豊かに発想や構想ができるように指導することが必要だとしているか。適切なものをＡ～Ｃから一つ選び、記号で答えよ。
Ａ　表現のテクニック　　Ｂ　自分らしさ　　Ｃ　表現に関する経験

2025 kyosai-guild.jp

問4　下線部②について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編　第3章　第2節　第2学年及び第3学年の目標と内容」には、ここでのねらいについて次のように示されている。［サ］、［シ］にあてはまる語句をA～Eから選び、記号で答えよ。

ここでは身近な自然や環境に目を向け、［サ］について考えたり、人間も自然という大きな環境の中で生きていることを自覚し自然と共生していく視点に立って［シ］を発見したりすることをねらいとしている。

A　日本の伝統文化の課題　　B　造形的な課題　　C　近未来のバーチャルな空間
D　心安らぐ生活空間　　E　国際理解教育

問5　下線部③について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編　第3章　第2節　第2学年及び第3学年の目標と内容」では次のように示している。［ス］、［セ］にあてはまる語句を答えよ。なお、［オ］には問1と同じ語句が入る。

見方や感じ方を深めるとは、［ス］な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、［オ］や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして［セ］を豊かにし、見方や感じ方を深めることである。

問6　中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編」において、創造性を尊重する態度について指導する中で、併せて指導が必要な作者の権利とは何か、一つ答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

Ⅱ　[高等学校学習指導要領に関する問題]

次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第２章　第７節　芸術　第２款　第４　美術Ⅰ」の一部である。後の問に答えよ。

> 1　目標
>
> 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、［ア］を重ね、［イ］や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
>
> （1）対象や事象を捉える［ウ］について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
>
> （2）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、［エ］をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
>
> （3）［オ］に美術の幅広い創造活動に取り組み、［カ］にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、①感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな［イ］や社会を創造していく態度を養う。

> 2　内容
>
> B　鑑賞
>
> （1）鑑賞
>
> 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
>
> （略）
>
> イ　［イ］や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞
>
> （ア）②環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術の関わり、［イ］や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、③見方や感じ方を深めること。
>
> （イ）日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の［キ］、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。

問1　［ア］～［キ］にあてはまる語句を答えよ。

問2　高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第２章　第７節　芸術　第２款　第４　美術Ⅰ」では、鑑賞に充てる授業時数についてどのように示しているか。適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

A　育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保すること

B　A表現との関連を図り、おおよそ１対１の割合で実施すること

C　鑑賞に充てる授業時数は示していないため、実施しなくてよい場合もある

問3　下線部①について、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編　音楽編　美術編　第１部　第２章　第４節　美術Ⅰ　２目標」において次のように示している。［　　］にあてはまる語句をA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

> 感性を高めとは、様々な対象や事象からよさや美しさなどの［　　］などを感じ取る力を高めることである。

A　表現の特質　　B　資質や能力　　C　価値や心情

問4　下線部②について、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編　音楽編　美術編　第１部　第２章　第４節　美術Ⅰ　３内容」には次のように示されている。［ク］、［ケ］にあてはまる語句をA～Eから選び、記号で答えよ。また、［コ］にあてはまる語を答えよ。

> ここでは、環境の中に見られる様々な造形に目を向け、自然と共生していく視点に立って［ク］に気付いたり、［ケ］について再発見したりするなど、よさや美しさなどを感じ取りながら、環境の中の美術の働きについて［コ］を伴いながら捉えられるようにすることが大切である。

A　日本の伝統文化の課題　　B　造形的な課題　　C　Society５.０時代の到来によるバーチャル空間

D　心安らぐ環境　　E　国際理解教育

2025 kyosai-guild.jp

問5　下線部③について、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第4節 美術Ⅰ 3内容」では次のように示している。［サ］～［ス］にあてはまる語句を答えよ。なお、［イ］には問1と同じ語句が入る。

> 見方や感じ方を深めるとは、自然や人々の［イ］、［サ］・環境などを観察したり調べたりして、自然と美術の［シ］や［イ］や［サ］における美術の働きなどついて考えるなどして［ス］を豊かにし、価値意識をもって見方や感じ方を深めることである。

問6　高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第4節 美術Ⅰ」において、創造性を尊重する態度について指導をする中で、併せて指導が必要な作者の権利とは何か、一つ答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　校内の敷地内の風景から感じ取ったことや考えたことについて奥行きの表現や色彩の効果を理解し、構図などを工夫して風景画に描いて表現する活動を行う。資料1を読み、後の問に答えよ。

資料1＜学習活動の流れ＞

（1）学習内容等を知る。
（2）「落葉」（菱田春草）、「ウォール街」（横山操）などを鑑賞する。
（3）ワークシートやアイデアスケッチに描くなどの活動を通して、自分の中で強く表したいことを思い描き、そのことを基に構想を練る。
（4）奥行きの表現や色彩の効果、構図などを工夫して表現する。
（5）お互いの完成した作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。

問1　学習活動のねらいを達成するために、造形の要素などに着目させたい。次は中学校学習指導要領解説（平成29年告示）「美術編」及び、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編（美術Ⅰ）」の〔共通事項〕ア（ア）の指導について抜粋したものである。［ア］～［エ］にあてはまる語を答えよ。

（ア）色彩の［ア］や明るさ、［イ］を捉えること。
色彩には、［ア］や明るさ、［イ］などの性質があり、それらについて［ウ］を通して直接感じ取り理解できるようにする。ここでの指導の重要な点は、色の三属性などについて単に言葉を暗記させることに終始するのではなく、学習活動を通して、［エ］を伴って理解できるようにすることである。

問2　奥行きの表現方法として、（1）、（2）を何というか、答えよ。
（1）近くのものは濃くはっきりと、遠くのものは淡く弱く表すことで遠近感を出す方法
（2）水平線と消失点を決めて描くことで遠近感を出す方法

問3　本題材において、表現と鑑賞の指導の関連を図るのはなぜか、中学校学習指導要領解説（平成29年告示）「美術編」及び、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編（美術Ⅰ）」を踏まえ、適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。
A　学級全体で統一した描き方ができるようにするため
B　多くの作品を鑑賞し、その作者名を記憶するため
C　生徒一人一人がそれぞれのイメージを広げて取り組めるようにするため

問4　資料1の領域の指導に当たっての配慮事項として中学校学習指導要領解説（平成29年告示）「美術編」及び、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）「芸術編（美術Ⅰ）」では次のように示している。次の文の［オ］、［カ］にあてはまる語句を、A～Eから選び、記号で答えよ。なお、それぞれの［オ］、［カ］には同じ語句が入る。

【中学校学習指導要領解説】
主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標をもち、自分の［オ］を発見し喜びをもって［カ］を果たしていく態度の形成を図るようにすること。

【高等学校学習指導要領解説】
主題の生成から表現の確認及び完成に至る全過程を通して、自分の［オ］を発見し喜びを味わい、［カ］を果たしていく態度の形成を図るよう配慮するものとする。

A　見方　　B　理解　　C　自己実現　　D　継承と創造　　E　よさ

問5　資料1の題材において、言語活動の充実を図るような活動を取り入れた。その際の留意点として適切ではないものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。
A　何のために言語活動を行うのか、明確にして行うこと
B　どんな表現活動の前においても必ず言語活動の場面を設定すること
C　〔共通事項〕に示す視点が十分でないままの単なる話し合い活動にならないように留意すること

2025 kyosai-guild.jp

第3問題　造形表現に関する次の問に答えよ。

問1　色彩や配色について、(1)、(2) に答えよ。

(1) 細かい色点を並べて遠く離れて見ると、混色された色が見えることを何というか、答えよ。

(2) 色と色の間に無彩色を入れると、それぞれの色を独立させ、強烈すぎる配色を和らげたり、弱すぎる配色を引き締めたりする効果が生じるが、これを何というか、カタカナで答えよ。

問2　構図や構成について、(1)、(2) に答えよ。

(1) 次の文の［ア］～［ウ］にあてはまる語または数字を答えよ。

［ア］は、人間にとってもっとも安定した美しい比率とされ、およそ1：［イ］になる。自然の中の形をはじめ、美術やデザイン、建築など、美しい［ウ］を感じる多くのところに見いだすことができる。

(2) 形や色の変化によって感じさせる動きのことを何というか、カタカナで答えよ。

問3　木や金属の工芸について、(1)、(2) の［エ］～［キ］にあてはまる語を答えよ。

(1) 両刃のこぎりには、木目に直角に切るときに用いる［エ］と、木目に沿った方向に切るときに用いる［オ］がある。

(2) 金属には、たたくと広がるという［カ］性と、引っ張るとのびるという［キ］性がある。

問4　デザインについて、(1)、(2) に答えよ。

(1) 弓矢の矢羽根の形がモチーフで、明治時代に袴と合わせた着物の柄として流行した和の文様を何というか、答えよ。

(2) 未来の世代にわたって暮らし続けるために、人類や地球環境に悪影響を与えず、資源を無駄にしないことを目指したデザインを何というか、カタカナで答えよ。

第4問題　図版ア～コについて、次の問に答えよ。(図版は8／9枚目)

問1　図版アについて、次の［ア］～［エ］にあてはまる語または人物名を答えよ。

図版アは、鎌倉時代につくられた東大寺南大門の金剛力士立像である。運慶・快慶によって［ア］像が、湛慶・［イ］によって［ウ］像が制作された。多くの部材を組み合わせた［エ］という技法で作られている。

問2　図版イは加藤久仁生氏による、水に沈みゆく街で暮らす老人の思い出を描いたアニメーション作品の一場面である。作品名を答えよ。

問3　図版ウは秋田県大館市の工芸品である。名称を答えよ。

問4　図版エはデジタル技術によって、流れ落ちる水の動きを計算して描いた作品である。これを制作したアート集団の名称を答えよ。

問5　図版オについて、次の (1)、(2) に答えよ。

(1) 作者名を答えよ。

(2) この作品が制作された19世紀末から20世紀初頭にかけ、ヨーロッパを中心に起こった「新しい芸術」という意味をもつ国際的な芸術運動の名称を答えよ。

問6　図版カは、琉球王国時代に、上流階級の人々の衣装や舞踊衣装として発達したものであり、植物染料や顔料を用いた鮮やかな色が特徴である。この染物の名称を答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

問7　図版キについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作品名と作者名を答えよ。

（2）この作品は、ダンテの「神曲」をテーマに制作された作品の一部だったが、独立した像として大理石やブロンズで制作されるようになった。このダンテの「神曲」をテーマに制作された作品とは何か、答えよ。

問8　図版クについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

（2）この作者らにより展開された、対象を多方向から見て一画面に再構成する表現等を用いた絵画運動を何というか、答えよ。

問9　図版ケについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）建築物の名称を答えよ。

（2）この建築物のように、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の条約にもとづいて登録された貴重な遺跡や文化財のことを何というか、答えよ。

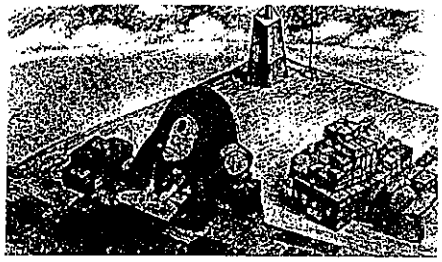
問10　図版コについて、次の［　オ　］～［　ク　］にあてはまる語または人物名を答えよ。

この作品は、2003年に［　オ　］で発見された［　カ　］作の巨大壁画「［　キ　］（作品名）」である。［　キ　］は水素爆弾が炸裂した瞬間を題材にして描かれており、絵の中には、恐ろしい死の恐怖や生命誕生・再生のイメージも見られる。2008年より［　ク　］駅に設置されている。

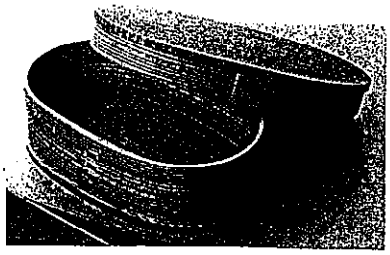
2025 kyosai-guild.jp

図版ア

図版イ

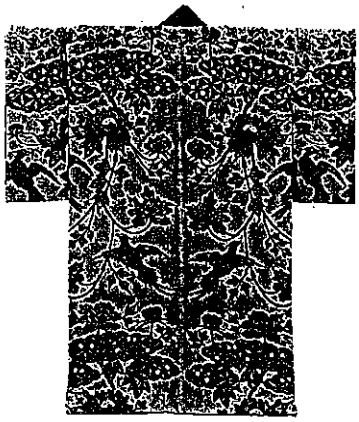


図版ウ



図版オ

図版カ



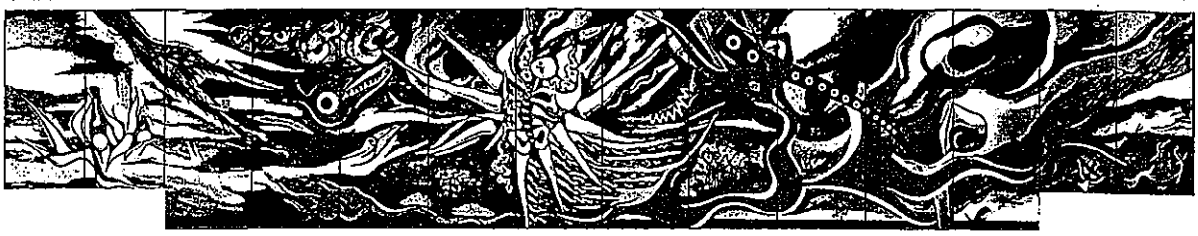
図版エ

図版キ

図版ク

図版ケ

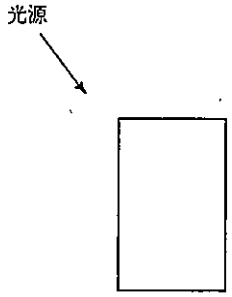
図版コ



2025 kyosai-guild.jp

第5問題　次の条件に従って立体感が出るように円柱を描け。

＜条件＞
① 光源は立面図の通り左上背後に設定し、円柱の正面から見た鳥瞰図とする。
② 材質は石膏で白い紙の上に置いてあると想定し、陰影を付けて描写する。
③ 鉛筆のみを使用する。



立面図

2025 kyosai-guild.jp

令和５年度　解答例

美　術	1／4枚中

受験番号

第１問題

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］（２２点）

問１	ア	造形的な視点（２点）	イ	調和（１点）	ウ	独創的（１点）
	エ	主体的（１点）	オ	生活（１点）	カ	安らぎ（１点）
	キ	共生（１点）	ク	特質（１点）	ケ	愛情（１点）
	コ	共通点（１点）				
問２	A（２点）					
問３	B（２点）					
問４	サ	D（１点）	シ	B（１点）		
問５	ス	身近（１点）	セ	鑑賞の視点（２点）		
問６	著作権（２点）					

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］（２２点）

問１	ア	美的体験（１点）	イ	生活（１点）	ウ	造形的な視点（２点）
	エ	価値意識（１点）	オ	主体的（１点）	カ	生涯（１点）
	キ	特質（１点）				
問２	A（２点）					
問３	C（２点）					
問４	ク	B（１点）	ケ	D（１点）		
	コ	実感（２点）				
問５	サ	社会（１点）	シ	関係（１点）		
	ス	鑑賞の視点（２点）				
問６	著作権（２点）					

2025 kyosai-guild.jp

第２問題　（１３点）

問１	ア	色味（１点）	イ	鮮やかさ（１点）
	ウ	体験（１点）	エ	実感（１点）
問２	（１）	空気遠近法（２点）		
	（２）	線遠近法（１点）		
問３	C（１点）			
問４	オ	E（２点）	カ	C（２点）
問５	B　（１点）			

第３問題　（１９点）

問１	（１）	並置混色　（１点）			
	（２）	セパレーション　（２点）			
問２	（１）	ア	黄金比　（２点）	イ	１．６　（２点）
		ウ	調和　（２点）		
	（２）	ムーブメント　（２点）			
問３	（１）	エ	横びき刃　（２点）	オ	たてびき刃　（２点）
	（２）	カ	展　（１点）	キ	延　（１点）
問４	（１）	矢絣　（１点）			
	（２）	サスティナブルデザイン（１点）			

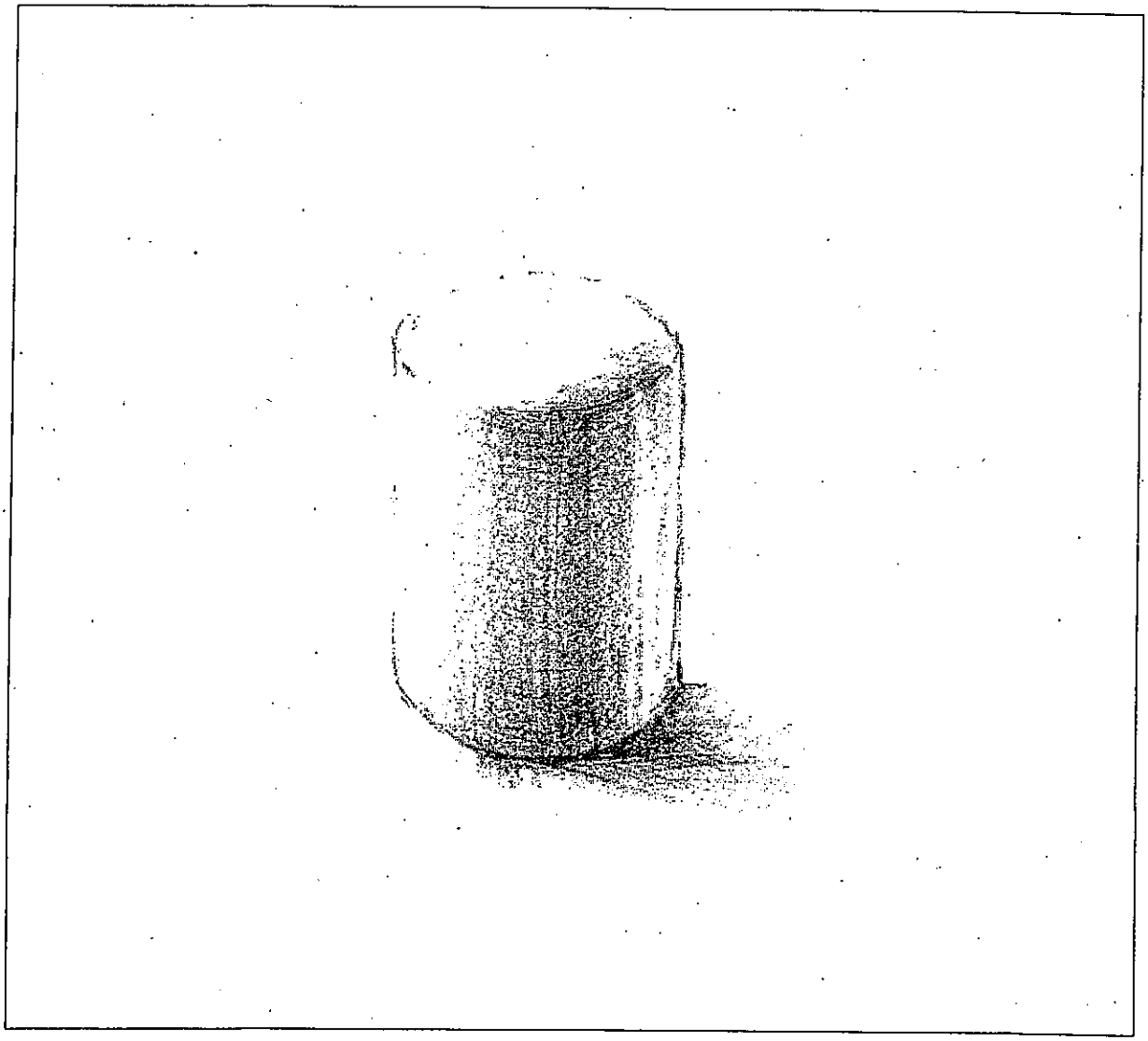
2025 kyosai-guild.jp

第４問題　（３１点）

問１	ア	阿形　（１点）	イ	定覚　（２点）
	ウ	吽形　（１点）	エ	寄木造　（２点）
問２	つみきのいえ　（２点）			
問３	曲げわっぱ　（２点）			
問４	チームラボ　（２点）			
問５	（１）	ミュシャ　（１点）		
	（２）	アール・ヌーヴォー　（２点）		
問６	紅型　（２点）			
問７	（１）	作品名　考える人　（１点）	作者名　ロダン　（１点）	
	（２）	地獄の門　（２点）		
問８	（１）	ブラック（２点）		
	（２）	キュビスム　（２点）		
問９	（１）	日光東照宮　（１点）		
	（２）	世界文化遺産　（１点）		
問１０	オ	メキシコ　（１点）	カ	岡本太郎　（１点）
	キ	明日の神話　（１点）	ク	渋谷　（１点）

2025 kyosai-guild.jp

第５問題　（１５点）



2025 kyosai-guild.jp